

出会いと結婚応援に関する提言書

近年、全国的に少子化が進んでいるが、福井県も例外ではなく、県内の2021年の出生数は、過去最少となっている。少子化の原因はいくつか考えられるが、背景には、婚姻数の低下と晩婚化の進展があると考えられる。

コロナ禍もあり男女の出会いも減少していると思われる今、たくさんの若者が気軽に参加できる出会いの場を提供し、併せて若者の結婚に対する意欲を高め、結婚したい若者を応援する施策が必要だと考える。

そこで、福井県の若者の出会いや結婚を応援する施策について、以下のとおり提言する。

- 1 「婚活アプリ」、「婚活カフェ」など、結婚を応援する事業に多く使われている「婚活」を使った名称ではなく、若者がより気軽に参加でき、より結婚を前向きに考えることができるような新たな名称を考えること
- 2 より多くの若者たちが福井県内で出会えるよう、福井県へUIターンする若者限定で、生活にかかる初期費用への支援や、「ふく恋」のマッチングシステムの登録料を無料にするなどして、若者のUIターンを促進し、福井県に在住する若者を増やす取組を行うこと
- 3 「ふく恋」のマッチングシステムについて、気軽に相手とやりとりができるような、チャット機能を追加すること
- 4 交際相手のいない未婚の若者たちが気軽に参加でき、一緒にスポーツやゲームを楽しめるような体験型イベントを企画すること。また、イベントを企画する施設やイベント企画事業者に対し、支援を行うこと。
- 5 自然な出会いの場として、40歳以下の人たちを対象に、「オリンピック同窓会」と銘打った、4年に一度のプレミアムな同窓会の開催を奨励し、支援を行うこと。
- 6 結婚をまだあまり意識していない高校生に、高校生を対象にした「ウエディングドレス・タキシード試着会」を企画し、実際にウエディングドレスやタキシードを着て模擬結婚式を体験するなどして、早い時期から結婚への意欲を持ってもらえるようなイベントを実施すること

令和4年8月4日

福井県知事 杉本 達治 様

福井県立三国高等学校

チーム「ほうじ茶」

小林 佑衣奈 蛸島 杏佳 北山 聖